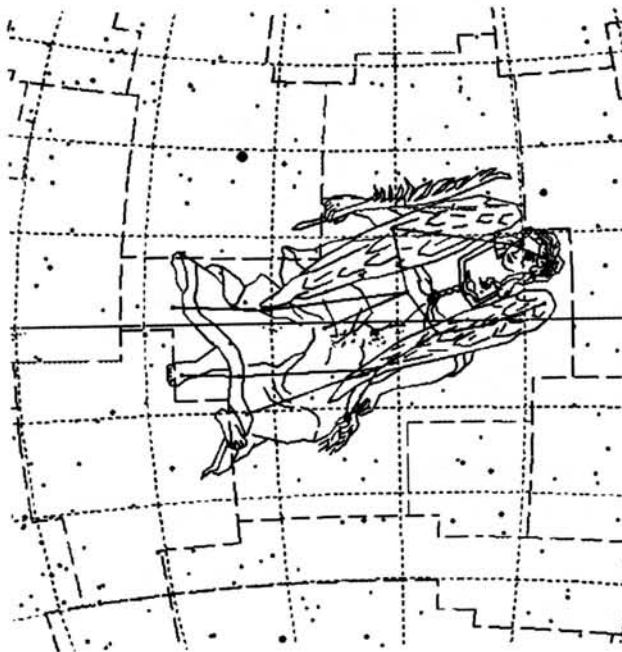




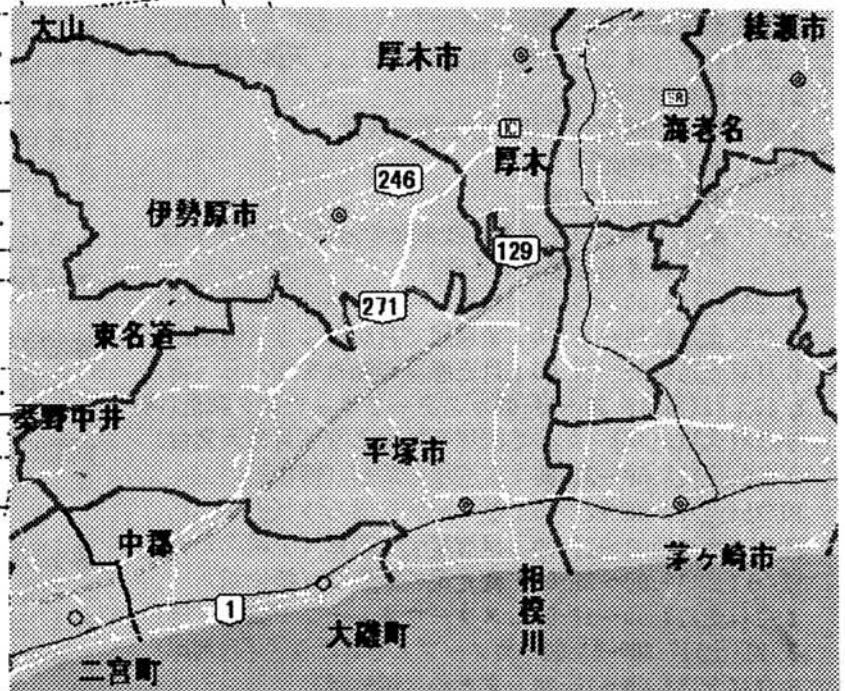
あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'97 3月号



おとめ座周辺の星図と平塚市周辺の地図。星座の領域と市町村の境は似ています。星図上の縦横線は経線と緯線です。



プラネタリウム新番組

星の住所

見たい星や星座がいったいいつ、どこに見えるのか、見ようと思ってもすぐにはわかりにくいですね。おまけに、星は時間がたつと動いてしまい、見える高さも方角も変わります。これでは星は住所不定みたいですよ。たとえば、今話題のヘールボップ彗星が見たくても、いつ、どこを見ればいいのか、なにかで確かめなくてはなりません。じつは星にも地図（星図）があって、それをたよりにたどることが出来ます。ということは、星それぞれに決まった住所があるということです。あなたの家の住所と星の住所、一見関係ないようですが、考え方は一緒です。たとえば、博物館。住所は神奈川県平塚市浅間町12-41です。地図で神奈川県平塚市のページをめくり、浅間町を探していくと・・・ありました。でも、博物館へ行くにはべつに道順や近くの地形などを覚えないとたどり着けません。地図を見ながら行くにしても頼りになるのは番地よりも角のお店の名前だったりします。最近はカーナビという便利な道具が地図上の自分の現在地を示してくれて、道案内をしてくれます。この装置は番地ではなく、地球上の自分の位置を緯度経度で計算して表示しています。では星はどうでしょうか。たとえばおとめ座の一等星のスピカが見たい時。星図をめくり、おとめ座のページを見ます。スピカが見つかりました。今度は空のどこを見ればスピカは見つかるのでしょうか。私たちは星空を歩き回るのは出来ません。どうしたらスピカに出会えるのでしょうか。今、頭上に見えている星空におとめ座がでていなければ見られないのでしょうか。

星の位置もカーナビ同様緯度と経度で表すことが出来ます。それには真南に見える星がカギになります。世界地図と星図を比べながら星の住所の決められ方をお話ししましょう。

期間：3月15日～5月4日

投影日時：土・日曜日の11時と14時

春休み期間の水・木曜日も臨時投影があります。

平塚市博物館 平成9年度の行事案内

～年間会員募集～

毎号「あな博」のカレンダーを見て、参加したい行事があるけど会員制だから途中参加はできないのか、とあきらめていたあなた。今がチャンス。平成9年度の年間会員を大募集します。この機会をお見逃しなく。

●平塚の空襲と戦災を記録する会

平塚空襲体験者からの聞き取りや戦災地図作成を行い、「戦災誌」を刊行します。

活動日時：毎月第2第4土曜日 午後1時30分～4時
場 所：博物館特別研究室

●天体観察会

流星群や月食などの天文現象を観察し、天体観察の知識と技術を学びます。

活動日時：原則として月1回土曜日夜間

場 所：博物館屋上など

定 員：40名程度

対 象：中学生以上（18歳未満の方は、はがきに保護者名を書き添える）

- 4/26(土)16:00～22:00：火星、ヘルボップ彗星（博）
- 5/17(土)18:30～21:00：望遠鏡で月を見よう（博物館）
- 6/14(土)16:00～21:00：月と惑星の動きを知ろう（博）
- 8/2(土)3(日)18:00～21:00：スターウォッチング調査（博）
- 8/12(火)13(水)：流星を数えよう（月光天文台）
- 9/20(土)18:00～21:00：変光星の観察（博物館）
- 10/25(土)17:00～21:00：星の写真を撮ろう（王城山）
- 11/1(土)17:00～21:00：星雲星団の観察（王城山）
- 12/6(土)17:00～21:00：変光星の観察2（博物館）
- 1/24(土)17:00～21:00：スターウォッチング調査（博）
- 2/21(土)17:30～21:00：カノープスを見よう（平塚海岸）
- 3/14(土)14:00～16:30：まとめ（博物館）

●民俗探訪会

石仏や神社、田畑の様子、年中行事などの観察を通して、人々の願いや祈り、地域の暮らしの移り変わりなどについて考えます。前半は八王子道を歩き、後半は平塚市を起点に大磯丘陵へと歩き継いでいきます。文集「八王子道を歩いた」の刊行も予定しています。

活動日時：毎月1回日曜日 午前10時～午後4時

場 所：八王子道、平塚市周辺

募 集：20名程度

- 4月13日：説明会（博物館）
- 5月11日：八王子道を歩くⅦ（相模原市橋本）
- 6月1日：八王子道を歩くⅧ（八王子市片倉）
- 7月13日：八王子道を歩くⅨ（八王子市街）
- 8月10日：学習会（博物館）
- 9月7日：冊子づくり（博物館）
- 10月5日：（平塚宿）
- 11月2日：（山下・高根・万田・出縄）
- 12月7日：（下吉沢・上吉沢）
- 1月11日：（土屋）
- 2月8日：（中井町）
- 3月1日：（大井町）

●相模川の生い立ちを探る会

大地の地形・地質と自然の生き物や生活文化がどのように関連しているかを考えながら、県内各地で野外観察をします。活動記録として会報「グリーントフ」を発行します。

活動日時：毎月1回日曜日 午前9時～午後4時

場 所：県内各地

- 4月20日：仏果山に登る（愛川町仏果山）
 - 5月25日：三浦の地層（葉山海岸）
 - 6月22日：大理石と変成鉱物（山北町白石沢）
 - 7月20日：富士の寄生火山（富士山五号目）
 - 8月17日：本棚と石英閃緑岩（山北町西沢）
 - 9月28日：海辺の石の由来（二宮～大磯海岸）
 - 10月26日：神縄断層を見る（山北町塩沢）
 - 11月9日：古期外輪山を歩く（箱根乙女峠～丸岳）
 - 12月14日：百蔵山に登る（大月市百蔵山）
 - 1月25日：東丹沢の地層（清川村辺室山・物見峠）
 - 2月22日：グリーントフを見る（広沢寺～日向薬師）
 - 3月22日：千足の柱状節理（上野原千足）
- *雨天時は室内学習会を開きます。

●古文書講読会

市域に残る近世文書の読解を通して地域の歴史を学びます。

活動日時：毎月第2第4土曜日 午後2時～4時

場 所：博物館講堂

●古代遺跡を探る会

遺跡の表面採集とともに遺跡分布調査を行い、資料整理をしながら考古学の基礎を学びます。

活動日時：毎月1回日曜日 午前10時～午後3時

場 所：市内各地 募集：若干名

*雨天時は館内で資料整理と講義を行います。

●裏打ちの会

古文書の裏打ちの技術を学び、実際に博物館資料の裏打ちをします。

活動日時：毎月第3水曜日 午前10時～午後3時

場 所：博物館科学教室

●漂着物を拾う会

海岸に打ち上げられる様々なものを博物館資料として収集します。

活動日：原則として奇数月第2土曜日

時 間：午前9時30分～11時

場 所：平塚海岸

●申込要項

往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、それぞれの会宛にお送りください。家族で参加する場合は、1枚のはがきに参加希望者全員の名前を記入してください。

あて先：〒254 平塚市浅間町12-41

平塚市博物館「〇〇〇」係へ

申込〆切：いずれも3月末日まで

<行事予定>

募集案内などの詳細はその都度「あなたと博物館」でお知らせします。また、内容や日時は変更する場合があります。

＝展示活動＝

●特別展

農家の四季 郷土の生活文化を見つめ直すきっかけにすることをねらいに、農具や年中行事に関する資料を展示し、農家の暮らしを季節の流れに沿って紹介します。体験学習、観察会、講演会等を予定しています。

会期：7月19日～ 8月31日

公募写真展 市民から写真を公募し、優秀な作品を表彰するとともに展示を行います。

会期：10月1日～10月30日

平塚の星空写真展 平塚の夜空に輝く星座、星、天文現象などをおもに博物館で撮影した写真によって紹介します。撮影会を予定しています。

会期：12月13日～2月 1日

●寄贈品コーナー

新資料展 : 4月 1日～4月29日

公募写真展PR : 5月 1日～6月 1日

平塚空襲展 : 6月13日～7月17日

養蚕展 : 7月19日～9月12日

実習生の展示 : 9月18日～10月30日

化石展 : 11月1日～11月29日

縄文土器作品展 : 12月1日～12月27日

生物部門 : 1月6日～ 2月 1日

●プラネタリウム一般投影

星の住所 : 3月15日～ 5月4日

南半球オーストラリアの星空 : 5月10日～7月13日

かんむり座物語 : 7月19日～ 9月7日

生命の星の条件 : 9月13日～11月9日

星空の歳時記 : 11月15日～ 2月1日

＝館内行事＝

●体験学習

家紋凧を作ろう : 4月27日

縄文土器を作ろう : 8月6、7、8、27日

地形模型を作ろう : 8月21、22、26日

蓄音機でなつかしの流行歌を聞こう : 10月25日

紙すき : 11月

お飾りを作ろう : 12月21日

星座早見を作ろう : 1月

*申込制

●考古学入門

縄文時代 : 10月11日

弥生時代 : 10月25日

古墳時代 : 11月 8日

奈良・平安時代 : 11月29日

*申込制

●自由研究相談会

7月25日、8月20日

*参加自由

＝館外行事＝

●自然観察会

四季の自然を楽しみながら動植物を観察します。

春の丘陵の自然（土屋） : 4月 6日

カエルの声を聞く（土屋） : 6月22日

秋の雑木林の観察（鷹取山） : 11月30日

冬鳥の観察（酒匂川） : 1月18日

*申込制

●こども観察会

タンポポの観察（湘南平） : 4月12日

コアジサシの観察（相模川） : 6月14日

溪流の動物の観察（大山川） : 8月 9日

漂着物の観察（平塚海岸） : 10月 4日

落ち葉の観察（吉沢） : 12月13日

カモの観察（花水川） : 2月14日

*申込制

●自然観察ゼミナール

セミのぬけがら入門 : 7月26日、8月7、13日

帰化植物入門 : 9月6、14日、10月12日

*申込制

●みんなで調べよう

ツバメの巣を調べよう : 4月20日、5月11日、7月6日

*申込制

●自然観察入門講座

貝化石を調べよう : 7月30、31日、8月1日

*申込制

●星を見る会

時間 : 午後7時～8時30分

場所 : 博物館屋上 参加自由

ヘルボップ彗星を見よう : 4月 1日～5日

月を見よう : 5月16日

夏の星空に親しもう : 8月7、14、21日

木星・土星を見よう : 10月17日

秋の星空と土星 : 11月28日

冬の星空散歩 : 1月9、23日

*参加自由

休館日のお知らせ

休館日 : 毎週月曜日

月末日（ただし特別展開催中は開館）

月曜日が祝日のときの火曜日

全館燦蒸休館 : 6月2日～12日

年末年始休館 : 12月28日～1月4日

展示替え休館 : 平成10年2月2日～4月30日

3月の行事予定

2	日	民俗探訪会「相模原市立博物館の見学」
5	水	地質調査会
8	土	◎漂着物を拾う会（平塚海岸） 古文書講読会 平塚の空襲と戦災を記録する会
9	日	地質調査会 自然観察会「早春の雑木林を訪ねて」(吉沢) ◎星を見る会「日食を見よう」 天体観察会「日食の観測」
13	木	石仏を調べる会（大島）
15	土	地質調査会（館内） 平塚の空襲と戦災を記録する会
16	日	古代遺跡を探す会
19	水	裏打ちの会
22	土	古文書講読会
23	日	相模川の生い立ちを探る会「マンガン鉱山」 (秦野市)
27	木	石仏を調べる会（館内）
28	金	◎星を見る会「ヘールボップ彗星を見よう」
29	土	天体観察会「まとめ」
31	月	月末休館日

4月の行事予定

1	火	◎星を見る会 「ヘールボップ彗星を見よう」(博物館) 19:00~20:30(彗星が没するまで)
5	土	○自然観察会「春の丘陵を歩く」(土屋) 地質調査会(野外)
10	木	石仏を調べる会(館内)
12	土	○こども観察会「タンポポの観察」(湘南平) 平塚の空襲と戦災を記録する会 古文書講読会
13	日	民俗探訪会「ガイダンス」(館内)
16	水	地質調査会(館内) 裏打ちの会
19	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
20	日	相模川の生い立ちを探る会(仏果山) ○みんなで調べよう「ツバメ調べ」(博物館)
24	木	石仏を調べる会(館内)
26	土	地質調査会(館内) 古文書講読会 天体観察会「ヘールボップ彗星の観測」
27	日	○体験学習「家紋凧を作ろう」(博物館) 古代遺跡を探す会
30	水	月末休館日

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

●寄贈品コーナー

「金目観音堂格天井絵」:

3月1日(土)~3月30日(日)

「新着資料展」:4月1日(火)~4月29日(火)

●プラネタリウム

「日食と月食」:3月9日(日)まで

「星の住所」:3月15日(土)~5月4日(日)

投影日時:土・日曜日の11:00と14:00

観覧料:100円 (3/26,27も投影します)

参加者募集

●自然観察会

「春の丘陵を歩く」

春の土屋に、満開の春の花を訪ねます。

日時:4月6日(日) 9:00~15:00

場所:土屋(七国峠付近)

申込:往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「自然観察会」係へ

〆切:3月25日(火)

●こども観察会

「タンポポを探そう」

カントウタンポポとセイヨウタンポポのちがいを学び、分布を観察します。

日時:4月12日(土) 13:00~16:00

場所:湘南平

対象:小中学生およびその保護者

申込:往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「こども観察会」係へ

〆切:3月25日(火)

●漂着物を拾う会

海岸に打ち上げられた動植物や人工物を拾い調べます

日時:3月8日(土) 9:30~11:00

場所:平塚海岸(花水川橋平塚側記念碑前集合)

参加:自由

●星を見る会

「日食を見よう」

日時:3月9日(日) 9:00~11:00

場所:博物館屋上(科学教室に集合) 参加自由

「ヘールボップ彗星を見よう」

博物館屋上にて双眼鏡等で彗星を観察します。

期日:3月28日(金)、4月1日(火)、2日(水)

3日(木)、4日(金)、5日(土)の計6回

時間:19:00~20:30、もしくは彗星が没するまで

集合:博物館1階科学教室 参加自由

*曇雨天時中止

*当夜は大変な混雑が予想されます。屋上に上がれる人数には制限がございます。万一、彗星をご覧にならない場合は申し訳ございません。ご容赦願います。

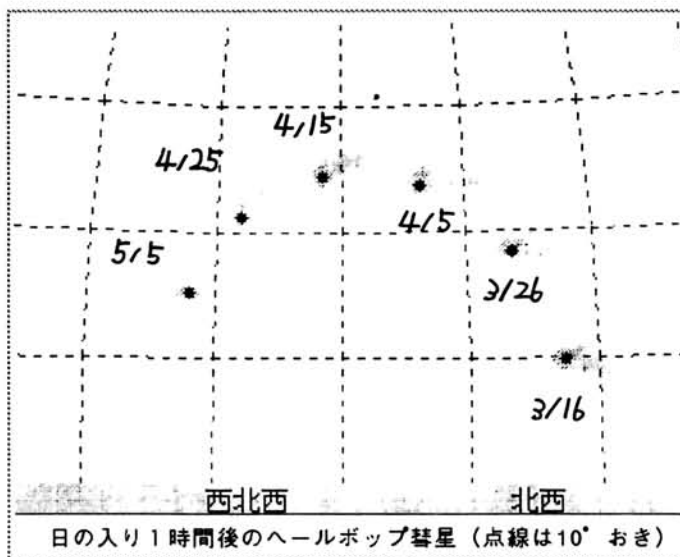
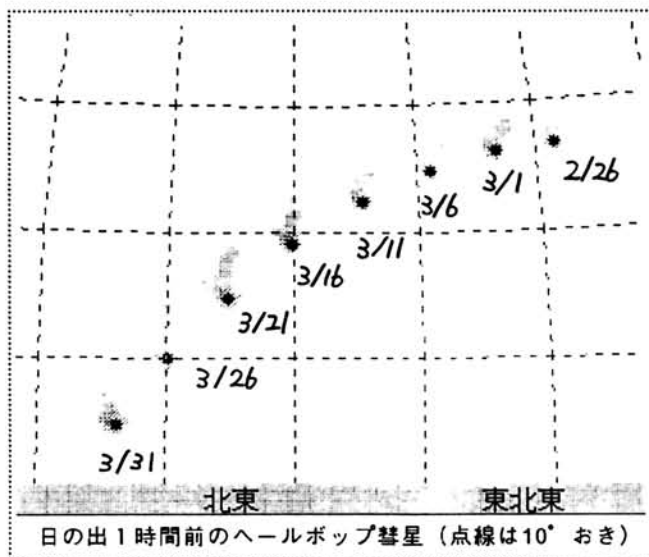
*博物館駐車場も大変な混雑が予想されますので、なるべくバス等公共交通機関か、お近くの方は自転車等で来館ください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

あなたと博物館

21巻 12号 通巻241号 ©3000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949

《ヘールボップ彗星を見よう》



★ヘールボップ彗星がいよいよ接近してきました。当初の予想よりはやや暗いながらも、巨大彗星との期待に違わず、2月には平塚市内でも肉眼で楽に見える、明るい彗星になりました。2月25日現在、市街地でも肉眼で小指の先ほどの短い尾がわかります。彗星が太陽に最も近くなるのは4月1日で、さらに発達した姿を見せてくれるのではと、ますます期待が高まっています。

平塚の日出、日没時刻

	日出	日没
3月 1日	6:13	17:38
3月 6日	6: 6	17:42
3月11日	5:59	17:47
3月26日	5:53	17:51
3月21日	5:45	17:55
3月26日	5:38	17:59
3月31日	5:31	18: 3
4月 5日	5:24	18: 7
4月10日	5:17	18:11
4月15日	5:11	18:15
4月20日	5: 4	18:19
4月25日	4:58	18:23
4月30日	4:53	18:28
5月 5日	4:47	18:32
5月10日	4:43	18:36

日出1～1.5時間前、日没1時間後を目安にしましょう。

もう空が見る見る明るくなってしまいます。とくにこの季節は、日の出が日ごとにぐんぐん早くなるので注意しましょう。日没後の場合も、のんびりしすぎると彗星が沈んでしまいます。

★何度も言いますが、いちばん肝心なのはお天気です。観察場所だとか月明などにあまりこだわりすぎてチャンスを逃すくらいなら、良い天気の日自宅からさっと眺める方をおすすめします。市街地のうすら明るい夜空で肉眼で見える彗星などなかなかありません。まさに千載一遇の好機をぜひとらえましょう。

★彗星は、頭部のとくに明るい箇所をのぞけば、だいたい淡い天体です。そこで、次のような条件によっては見え方がずいぶんちがってきます。

①天候 ②空の暗さ ③彗星の見える高さ ④彗星そのものの明るさ

とりあえず重要なのは①です。春霞のように、同じ「晴れ」でも透明度が悪い時は見え味が落ちます。また、他の悪条件の影響がいつそう大きくなってしまいます。

また、空は暗いほど、彗星の高さは高いほどよく見えます。空を明るくしてしまうものには市街光、月光、朝夕の薄明などが考えられます。

③④の条件は春休み期間中が最も良くなります。が、いちばん重要なのはお天気だということを忘れないようにしましょう。「花曇り」などともいうように、春はなかなか彗星観察向きの天気になりません。いつ見ようなどとあまり決めず、天気が良い日があったらとにかく見る、というほうがよさそうです。

★観察場所

できるだけ空が暗い場所が良いのですが、せめて彗星の見える方向に光をふりまくもの（ナイター照明など）がない場所、彗星が低い時は大きな建物にじゃまされない場所がよいでしょう。

★観察時刻

彗星の高さと、薄明などの兼ね合いで決まります。明け方の場合、日の出の1時間前をすぎると

★星を見る会

「ヘールボップ彗星を見よう」

日時：3月28日、4月1～5日

時間：19:00～20:30

場所：博物館屋上

*雨天曇天時は中止。

*彗星が没してしまった場合もその時点で終了します。

*混雑が予想されます。屋上に上られる人数は限られるため、ご覧になれなかった場合ご容赦下さい。

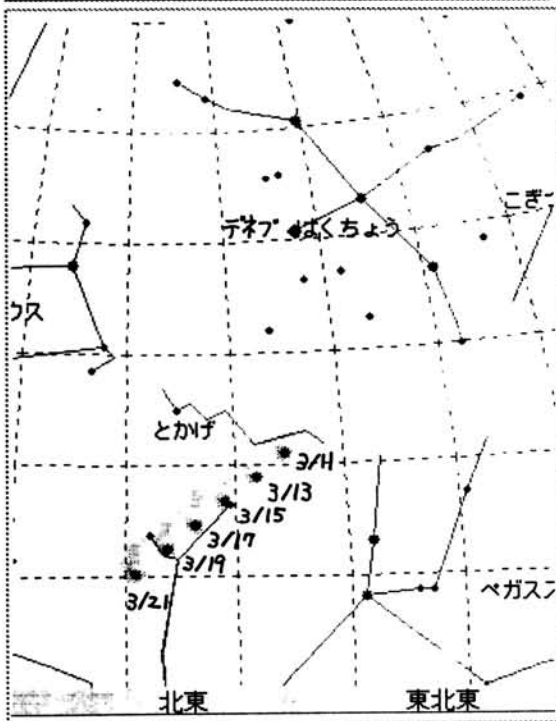
*徒歩、自転車または公共の交通機関をなるべくご利用下さい。

平塚市博物館

254 平塚市浅間町12-41

Tel.0463-33-5111

4月中ごろまでの観察ガイド



ハレー彗星の位置(2) 3/11～3/21 4:30ころ

★3月20日ころまで

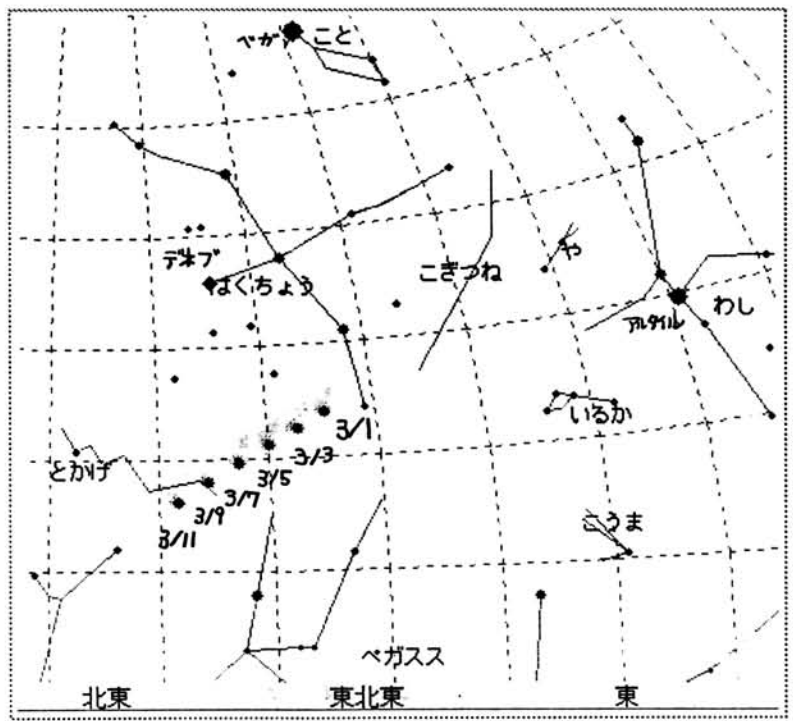
彗星は明け方北東の空に見えます。ベガ（こと座）、アルタイル（わし座）、デネブ（はくちょう座）が作る夏の
大三角のうち、左下の角にあるデネブの下の方を探しましょう。4時30分ころに観察するとよいでしょう。

★3月20日～4月10日

23日ころまで、明け方と夕方の2度見られます。尾は明け方の方が立っています。明け方なら4時半、夕方は19時
ころの観察になります。24日以降は、夕方の西の空の方が適しています。19時ころから観察を始めましょう。3月
中は近くに目印になる星がありません。4月はカペラ（ぎょしゃ座）の下の方を探して下さい。

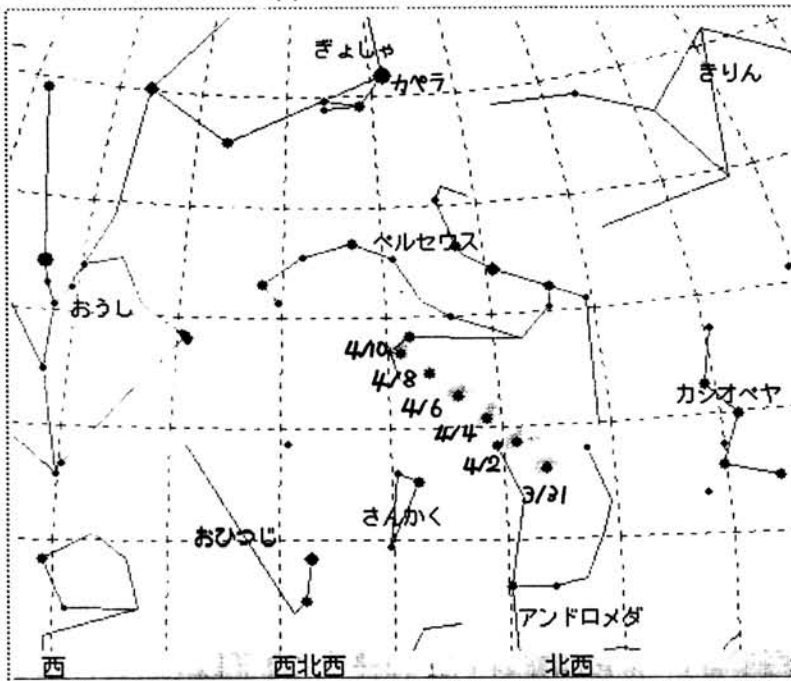
★4月11日以降

夕方の西の空で、高さがだんだん低くなります。彗星自体も徐々に暗くなります。5月の連休くらいまでは観察で
きそうです。4月半ばは月の明かりがあります。日の入り時刻の1時間後くらいが観察時刻の目安です。



ハレー彗星の位置(1) 3/1～3/11 4時40分ころ
(時刻はおおまかな目安です)

ハレー彗星の位置(4) 3/31～4/10 19:10ころ



ハレー彗星の位置(3) 3/21～3/29 19:00ころ

